

2018年度の事業報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

認定特定非営利活動法人 京都 DARC

1 事業の成果

2018年度は、2017年度に引き続き「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービス事業所として、指定共同生活援助（介護サービス包括型）をネクサス 1,2 にて、自立訓練（生活訓練）事業をデイセンター・マハロにて行った。2019年3月末の入寮者は8名、デイセンター・マハロへの通所登録者は11名であった。

デイセンター・マハロの回復プログラムとして、農作業等様々な事業を行った。農作業は、以前からお世話になっている亀岡市の農家の方の畑や田での野菜や米作り7回、山科区で農地をお借りして、野菜作り5回、綴喜郡井手町の畑をお借りしてニンニクと玉ねぎの栽培を16回行った。ボランティア活動は、喫茶店等でのボランティアを32回、さらに月一回デイセンター近くの公園の掃除ボランティアを行った。また、東九条春まつり・秋まつりボランティア参加や東九条マダンのお手伝いを通して、地域の方との交流を深めた。

今年度は、京都府北部ならびに南部の方々に、京都 DARC の活動を知っていただくために、出張フォーラムを開催した。6月30日に国立精神・神経医療研究センター病院薬物依存症治療センター長の松本俊彦先生に宇治で、7月1日に神奈川県立精神医療センターの小林桜児先生に亀岡で依存症についてお話ししていただいた。

薬物依存症者及びその家族への相談援助事業は薬物依存症者49件、薬物依存症者の家族35件、関係者18件の電話相談や来所面談等を行った。家族カウンセリングは76件であった。家族プログラムは12回行い、参加者の平均は6.6名であった。

今年度も京都府薬務課との共同事業を行った。薬物依存症の電話相談“薬物依存 ホットライン”（京都 DARC 内に設置と広報している）では、31件の電話相談があった。京都府薬物依存者に対する移動相談事業として舞鶴医療センターで毎月一回行っているメッセージ・ミーティングには、薬物依存症者・関係機関職員等平均3名の参加があった。「若年者向け薬物再乱用防止プログラム」（明日への扉を今開こう！OPEN）を全18回行った。京都市事業「京都市薬物依存症再発防止プログラム」（KEEP）への講師派遣は、全16回行った。さらに、施設内研修を全7回行った。

京都市伏見区向島にグループホーム建設用地として取得した物件は地域住民の方の理解が得られず、既存建物の解体工事ははろうじて行えたものの更地のままである。これまで地域住民の方の集会で施設建設に関する説明を8回行い、住民の代表者の方たちとの面談を2回、交流会等を3回行ったが、建設のめどは立っていない。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)	
⑥ 障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス事業	①薬物依存症回復支援施設の運営事業	共同生活援助(介護サービス包括型) ネクサス1・2運営	365日	ネクサス1・2	5	(平均) 7名/日	21,556
	③薬物依存症者への生活支援事業	ネクサス3運営		ネクサス3	3	(平均) 1.6名/日	
	①薬物依存症回復支援施設の運営事業 ③薬物依存症者への生活支援事業	自立訓練(生活訓練)事業 デイセンター・マハ口運営 ミーティング、レクリエーション、昼食作りなどのプログラム	月～土 9:30～ 17:00 313日	デイセンター・マハ口	5	(平均) 8.9名/日	26,443
④薬物依存症・薬物乱用に関する知	書籍販売	随時	京都DA	2	薬物依存症者	36	

識・情報の普及啓発事業			RC		とその 家族・関 係機関 職員等	
②薬物依存症者及びその家族への相談援助事業	薬物依存症者 相談	随時	京都 DA RC	8	49件/ 年	2,811
	家族・関係者 相談	随時	京都 DA RC	8	35件/ 年 薬物依 存症者 家族 18件/ 年 関係者	
	ホットライン 相談	随時	京都 DA RC	7	4件/年 薬物依 存症者 9件/年 薬物依 存症者 家族 18件/ 年 関係者	
	インターベン ションプログ ラム	随時	各拘 置 所・留	7	51件/ 年	

家族プログラム	12回/年	施設 京都 DARC	3	(平均) 6.6名/回 薬物依存症者 家族
家族カウンセリング	随時	京都 DARC	1	76件/年 (113時間)
京都府北部薬物依存症者に対する移動相談	12回/年	舞鶴 医療センター	7	(平均) 3名/回 薬物依存症者・関係 機関職員等
刑務所等における薬物離脱教育指導講師派遣	101回/年	各刑務所・拘置所	6	薬物依存症者
更生保護施設盟親健康学習会講師	8回/年	更生保護施設	2	(平均) 8名/回

	派遣		盟親		
	OPEN「若年 者向け薬物再 乱用防止プロ グラム」講師 派遣	18回/ 年	龍谷 大学 矯 正・保 護総 合セ ンタ ー	2	(平均) 4名/回
	KEEP「京 都市薬物依存 症再発防止プ ログラム」講 師派遣	16回/ 年	京 都 市こ ころ の健 康増 進セ ンタ ー	2	薬物依 存症者
	薬物再乱用防 止プログラム	3回/年	京 都 保 護 観 察 所	2	薬物依 存症者
④薬物依存症・薬物 乱用に関する知 識・情報の普及啓発 事業	ニュースレタ ー発行	6回/年	京 都 D A R C	4	200 0部/回
	フォーラム開 催	1回/年	京 都 府 内	15	200 名以上
	出張フォーラ	2回/年	京 都	10	100

	△開催		府内		名以上
	各種研修会等 講師派遣（関 係者・PTA・ 福祉等）	9回/年	全国	6	100 名/回
	学校・高校・ 大学への講師 派遣	8回/年	関西 圏各 学校	6	中学・高 校・大学 の生徒 教員及 び保護 者等約 150 名/回
	他機関との協 力・連携（市 こころの健康 増進センタ ー・府精神保 健総合センタ ー）	2回/年	府・市 のセ ンタ ー	4	薬物依 存症者、 関係機 関職員
⑤薬物依存者の社 会復帰促進事業	喫茶店等での ボランティア	32回/ 年	バザ ール カフ エ	2	(平均) 3名/回
	地域でのボラ ンティア	随時	京都 市	7	利用者
	就労相談	随時	京都 DA RC	6	利用者

	研修会参加	13回/年	全国	7	利用者
	農作業体験	5回/年	山科区	4	(平均) 5名/回
		7回/年	亀岡市	4	(平均) 4名/回
		16回/年	綴喜郡井手町	4	(平均) 7.3名/回
⑦その他この法人の目的を達成するために必要な事業	施設内研修	7回/年	京都 DA RC	3	(平均) 7名/回 職員、関係者
	施設外研修	5回/年	全国	7	(平均) 3名/回 職員、関係者

(2)その他の事業
当該事業年度は実
施しなかった。

実施予定な
し。